

平成30年度 五ヶ瀬町立上組小学校関係者評価書

NO			評 価 項 目	関係者総合評価	学校訪問時の感想及び要望等
1	満足度及び職員・子どもの態度	信頼される学校	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	A	・子ども達はいつも明るく元気がよい。少ない人数でも色々と遊びを工夫し校庭を走りまわる姿は愛おしく感じる。 ・あいさつは大人も難しい。タイミングもある。こちらから声をかけるタイミング、かけられる側のタイミング。タイミングが外れたり、自然に口に出るのが好ましいが声をかけられたら返す。子ども達にはこれがかけていると感じる。 ・目を見ない。顔を向けない児童もいる。 ・小さな学校の強みを生かして生徒全員に目が行き届いていると感る。先生方もみんな頑張っておられると感じる。 ただ、子どものあいさつは以前（だいぶ前ですが）に比べると声が小さい印象である。 ・学校で何が行われているのか興味を持たせる工夫が必要である。（学校だけの責任ではないが）
2			「地域の子どもたちを本校で学ばせることができてよかった」と思っている。	A	
3			職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A	
4			職員は、まとまりがあると思う。	A	
5			職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくていねいに対応している。	A	
6			学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすいよう工夫している。	B	
7			子どもたちは、学校内外でしっかりとあいさつができています。【五ヶ条「あ」】	B	
8	保護者地域との交流	信頼される学校	普段から教職員と保護者で交流ができています。	A	・広い桑野内地区住民はそれぞれの地区での活動だが先生方は全地域。休日や夕方～夜にかけてが多いので無理のない程度で。 ・先生にはよく協力していただいていると思う。頭が下がります。
9			教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	A	
10			地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	A	
11	危機管理・情報公開	信頼される学校	防災訓練をはじめ、非常災害時の対策を講じている。	A	・学校での可能な限りの防災対策はとれている。只、先日の防災訓練の子どもの参加が少なかった。行事や親の都合もあるが、こういう機会を利用する（学校も計画に加わる）と校外での（登下校含め）防災対策が確実なものになると思う。 ・児童への呼びかけを学校側からのも行っていくとよいのではないか。
12			学校の教育方針や重点的な取組が明確で、保護者に浸透するよう努めている。	A	
13			いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・体制がとれている。	A	
14			配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子（成績を含む）を適切に公開できている。	A	
15	環境	信頼される学校	学校内の掲示物を工夫するなど、児童の学習環境が整えられている。	A	・にこにこの際、清掃の現場に出会うことがある。ガラスを拭いていたり先生が膝をついて雑巾がけをしていたり建物が大きいので大変だと感じる。 ・よくできていると感じる。
16			清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	B	
17	重点取組事項と成果	確かな学力	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立てている。	A	・年度当初の児童に比べ確実に学力が上がった児童・平均して学力は高いと感じる。「読む」（プリント）「書く」（漢字）が苦手な児童が見受けられる。読むことで（事を）理解するには相当な集中力がいる。 ・個別授業（しゃくなげ）が見れてよかった。今後も個への対応をお願いしたい。 ・2回しか参観していませんが、いろいろ工夫された授業をされていたので、子ども達も理解されやすのではないかと感じた。 ・中学校への進学前に家庭学習の習慣を付けさせたい。（にこにこ教室で全て学習を終わらせるのではなく、家庭で学習する習慣を付けさせたい。）
18			授業は、子どもたちにとって分かりやすく一人一人の実態に配慮されている。	A	
19			G授業は、子どもたちの成長につながっていると感じる。	A	
20			授業等で、子どもたちの学力が向上していると感じる。	A	
①			「家庭学習の手引き」「学習の決まり」の共通実践を行い、学習の習慣化と定着を図っている。	B	
②			児童一人一人を大切にした授業展開を図りながら振り返る時間を確保するなど工夫し、子どもたちの学力の向上を図っている。	A	
21		豊かな心	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動が意図的に実施されている。	A	・言葉の「思いやり」真の「思いやり」真の「思いやり」は育っているか？「思いやり」があれば不用意な言葉は出ない。さりげなくサポートできるはず。ドキッとすると言葉やカッンとする言葉が出る。「僕（私）じゃありません」や見て見ぬふりもある。高学年になる程、本を読む姿を見る。（集中して読み入っている） ・子どもに目が届きやすい分、それぞれの個性に合わせた対応がされていると感じる。学力が全ての時代ではなくなったので、いかに人間力を付けさせられるかが今大切だと思う。
22			学校行事や体験活動の目的等は、保護者に理解され、内容は充実している。	A	
23			本校の教育活動により、子どもたちは思いやりの心が育っていると感じる。	B	
24			読書推進の取組により、子どもたちが読書に親しんでいると感じる。【五ヶ条「う」】	A	
③			凡事徹底の継続と定着を図っている。（あいさつ・返事・整理整頓・立要等「当たり前前のことが当たり前にできる教育」）	A	
④			日頃の教育活動や体験活動の充実を図り、高い自己肯定感と思いやりの心をもった児童の育成を図る。	B	
25		健康・体力	早寝・早起き・朝ごはん（朝大豆）、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。【五ヶ条「い」「え」】	A	・携帯無しでは困る程の現状の中、ノーメディアは相当難しい。同居家族、保護者の強い意志と協力が伴わなければならない。 ・寒くても外に飛び出し、少ない人数でも野球やサッカーに興じる姿に体力がなければこういう姿も見られないので遊び上手。本校児童ならばこそとうなずける。 ・基本は体力。強い身体がメンタル面にも影響すると思う。これからも更に強化してほしい。
26			テレビやゲーム等のメディア利用の適正化に向けて、家庭と連携した取組に努めている。【五ヶ条「お」】	B	
27			体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	A	
⑤			「給食マナーの日」「弁当の日」を設定し、栄養教諭や家庭と連携した食育の推進を図っている。	A	

【 平成30年度の総括評価 】

・本校の教育目標「凡事徹底」が全てに渡りとてもよい目標だと思う。子ども達だけでなく保護者も私たちも「あたりまえの事をあたりまえにできる」大人でありたい。
・学校はほんとうに頑張っていると感じる。こちらからも人間力を高める教育に取り組んでもらえれば、将来の五ヶ瀬は決して暗くはないと思う。今後ともよろしくお願いしたい。
・様々な面において個別に対応できる人数であるので、今後とも個を大切にした教育の推進をお願いしたい。
・確かな学力の項目における家庭学習の定着に向け、全体懇談会、学校だより、学級通信、ホームページ等様々な手段や機会をとおして実践していきたい。
・健康体力の項目におけるノーメディアへの取組について、町の重点施策でもあるので、家庭と連携した実践を次年度は力を入れて行っていきたい。